

市内高校・大学との議会報告で寄せられた意見について

(テーマ)

- ・住み続けたいと思うまちづくり
- ・若者（自分達）がまちづくり（政治）に興味を持つためには
- ・どうなれば（どうすれば）若者（自分達）は投票（選挙）に行くか

No	議会報告会での高校生・学生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	白山ろくから鶴来までのバスの便が少ないのもっとふやしてほしい。(待ち時間が長いので短くしてほしい。)(鶴来高校)	増便については、乗り切れないほどの利用があるわけではなく、現状では増便は無理ではないかと思っています。市としては、この現状の便数を維持し、利便性が低下しないよう赤字補填しており、今後も路線維持に努めたいと考えています。
2	10代からまちづくりに興味を持つようなプロジェクトに関わることができれば、まちづくりに興味を持つのではないか。(松任高校)	高校生や若い人にまちづくりに参加してもらうことは大変重要なことであり、これまでも計画を策定する際には15歳以上の方々にも市民アンケートの参加をいただいています。また市長への提案はがきやメール、選挙の疑似体験や白山検定への参加、地産地消における商品開発や地図に関わる事業にも高校生にも参加をいただいています。市政に関心を持ってもらうため、平成29年に総合計画の子供版を作成し小学6年生に配布しました。今後の後期企画版も子供が分かりやすいものを作り、小学6年生だけではなく、広く皆さんに伝わるようにしていきたいと考えています。
3	車がないと生活が不便。公共交通の充実したまちに住みたい。バス、電車の本数を増やしてほしい。(金城大学)	JR北陸本線は昼間の時間帯でも1時間に1方向でほぼ2便あるほか、路線バスも松任駅前のバス停で、松任・金沢駅間で昼間の時間帯に1時間に1方向で2便あります。また、西松任駅の設置により、公共交通の利便性の高い地域が広がることとなります。今、公共交通を必要としな

		い方でも、いずれは公共交通が必要になると考えられますので、公共交通の利便性が低下しないよう努めていきます。
4	めぐーるは土日に運行していないのであてにできない。(金城大学)	来年度から土曜日にも運行したいと思っています。
5	投票所の雰囲気を変える。雰囲気が堅苦しい。また、投票所でのルールを分かりやすくしてほしい。(金城大学)	選挙人に不快な思いをさせないように十分に注意をした上で、投票所でBGMを流すことを推奨していますし、投票所の中にはプランターや花の鉢植えて飾りつけを行い、雰囲気づくりを行っているところもあります。しかし、何よりも事務職員が明るく親切で丁寧な対応に努めることが大切だと思います。ルールについては、中学校や高校で行っている出前講座の際に禁止事項等については周知していますが、他市の取組例を参考にし、若い世代にも選挙制度が少しでも広がるように、効果的な手法を研究していきたいと思っています。
6	QRコードやスマホのアプリ等でオンライン投票が簡単にできるようになれば、選挙に興味を持つ。(金城大学)	オンライン投票が実現すれば、選挙事務の効率化や利便性が飛躍的に向上すると思いますが、現状では、オンライン投票の情報管理の徹底は非常に難しい状況です。万一システムにトラブルが起こったときの迅速な対応など、実現に向けてはかなり大きな課題が幾つもあると思います。将来的にはそうした環境整備が図られるのではないかなと期待していますが、相当先のことではないかと思っています。
7	小さいころからの投票、選挙教育が大切。(金城大学)	高校生を対象とした選挙の出前講座は市内の各高校で毎年実施しています。さらに中学生については、平成30年度から毎年3校程度を選定して有権者育成事業を実施しています。コロナの関係で昨年と今年は実施できてないのですが、来年度から再開したいと思っています。
8	学校で政治に触れる機会がないので、小さいと	現在、小・中学校では社会科を中心に、

	<p>きから政治に触れる機会があると感心を持ってもらえるのではないか。(鶴来高校)</p>	<p>国の政治の仕組みや選挙などの学習を行っています。また、小学校・中学校では、実際の投票箱を使用して模擬選挙などの活動を取り入れている学校もあります。特に中学校では自治活動を推進するというような動きの中で自分たちの考えをどうやって学校生活の中に生かそうとするのかというような活動も行い、間接的ですがそういう取組を行っています。また、毎年、議場において中学生が参加する子ども会議という取組もあります。</p>
9	<p>自転車で鳥越のサイクリングロードを通っていたとき、暗くて事故にあった。街灯をつけることによって明るいまちをつくらしてほしい。(鶴来高校)</p>	<p>現在、通学路の防犯対策として、サイクリングロードにおいて防犯灯の設置を下吉谷町から広瀬町の間で行っており、令和4年度で完了予定です。令和5年度より防犯灯の未整備区間である三ツ屋野町から河原山町の間において通学路の安全確保のため防犯灯の設置を計画しています。</p>
10	<p>暗い箇所には街灯外をつけてほしい。(福正寺町) (松任高校)</p>	<p>主要な交差点や小・中学校の通学路に対して道路照明灯を整理しています。そのほか、町内会が必要とする箇所においては、防犯灯として市が設置し、町内会が管理しています。お問い合わせの箇所についてですが、町内会から御要望を頂ければ市で設置することが可能ですので、一度町内会に御相談いただきたいと思います。(その後、市土木課から町内会長へ連絡しました。)</p>
11	<p>融雪道路が少なく、冬場の移動が大変だ。幹線道路だけではなく融雪装置の設置を多くしてほしい。(金城大学)</p>	<p>幹線道路を中心に融雪装置を設置していますが、地下水を利用した融雪装置の多用は地盤沈下などの要因となり、近年は地下環境の保全のため、新たに地下水を利用した融雪装置の設置は控えています。また、河川水の利用も進めていますが、必要水量の確保、水温の低さ、河川から流入する土砂やごみなどの問題など課</p>

		<p>題も多く、多用は難しい状況です。今後は、幹線道路や既存の融雪装置の維持管理に注力し、他の市道については機械除雪で対応することとしています。</p>
--	--	--